

QA



オーガニックコスメ、スキンケアや生活習慣など、より綺麗になるためのご質問に、ブルークレール代表がお答えします。

上質な香りは美肌をつくる。 ローズドブルークレール誕生秘話と香りのメカニズム

Q ローズの天然香水を作ったきっかけは何ですか？

A 「上質な香りは美肌をつくる。」という信念からローズドブルークレール (Rose du bleu clair) を作りました。大切なポイントは、身にまとう香りが、天然であることです。

化粧品を作り始めたのは、アロマセラピーが学生の頃から好きで、手作りのブレンドオイルを肌トラブルに悩む友人にあげていたことがきっかけでした。でも実は、ブレンドオイル以上に夢中になったのが香水作りでした。家族とよく行っていた那須に、良いハーブや精油商品を置いて、エステをするスパがありました。そこで仲良くなったアロマセラピストに、天然の精油で香水を作ることを教わったのです。

彼女は、庭からウスベニアオイの花を摘み、ティーカップにお湯を入れて、その花を浮かべた薄紫色のお茶を私に出してくれながら、精油や香水づくりに関する本を見せてくれました。香水の香りの構成には、トップノート、ミドルノート、ベースノートがあることを話してくれました。そして多くの精油の香りを試しました。その中には貴重なモス(コケ)や本物のリリー、松の葉(パインニードル)など珍しい精油もありました。モスはベースノートに使われます。パインニードルは薬効の高い植物で、ベイスからミドルになります。そして実際に、私の体質に合わせた香水を作ってもらいました。その時に、香りは体質や体調を助けるのだと実感したのです。

それから精油を少しずつ集め、何冊もの本を取り寄せ、エタノールや容器を用意して、自分の香水づくりが始まりました。今も手元から離さない愛読書の

「アロマセラピー 芳香療法の理論と実際(ロバート・ティスランド著)」もその時に入手しました。

香りは、五感の中で最も深く、脳にダイレクトに届く唯一の感覚です。そして、脳と顔の肌は密接につながり関係しあっています。上質で天然の香り身にまとうことは、美肌への近道とさえ言えます。

赤ちゃんとなる受精卵は、ママのお腹の中で、細胞分裂を繰り返しながら、3週目で胚葉と呼ばれる3つの部分に分裂します。内胚葉、中胚葉、外胚葉です。そのうち内胚葉からは、表皮、脳組織、髪や爪などが出来たります。つまり、皮膚と脳は、元は同じです。これを脳皮同根と言います。頭は脳を入れる重要な袋であり、顔はその一部で、顔には様々な機能や神経が集中しています。脳や感情の状態が肌の状態に非常に現れやすいのはそのためです。

香りは脳に直接作用します。香りは鼻腔から脳の中央深部にある大脳辺縁系へ到達します。そして自律神経に関わる視床下部に届きます。自律神経である交感神経と副交感神経のバランスに影響し、健康や免疫力はもちろん、直接的に肌の状態に影響します。脳の深部に入る香りを上手に使うことによって、私たちはお肌を根本から美しくすることが可能です。

ローズドブルークレール (Rose du bleu clair) は、このコンセプトに沿って開発しました。天然でオーガニック・無農薬のダマスクバラ花油とダマスクバラ花水100%の香水は、おそらく市場には滅多にない希少な存在です。有機の植物エタノールがベースです。

このエレガントな香りを身にまとう女性が一層輝くように、心を込めてお届けします。

回答者
株式会社ブルークレール 代表・製品開発者
松田 ナオミ

JAAA 認定アロマアーティスト、ヨガインストラクター RT200、
クシマクロビオティックインストラクター
ブルークレール公式ブログ「みずいろのブログ」にて美容・健康情報発信中。
URL <https://ameblo.jp/mizuuro-blog/>
「ブルークレール ブログ」で検索ください。

